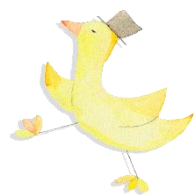




毎年恒例 年末大ビンゴ大会

就労継続支援 B 型事業

就労移行支援事業



どれにしようかな～

数字あるかな？



イエ～イ！ビンゴ！
何が入っているか
楽しみ～☆

最後に一年の振り返りをしました

- ・景品
- ・お菓子の詰め合わせ
- ・ジュース
- 3点セットを持ち帰りました☆



新年 書初め大会



今年の抱負

- ・就職する・・・Nさん
- ・根気良く・・・Nさん
- ・生きる・・・Tさん
- ・作業を一日頑張る・・・Hさん
- ・ウェルにずっと通いたい・・・Mさん
- ・風邪を早く治したい・・・Oさん
- ・速く正確な作業をする・・・Wさん
- ・体調管理に気を付ける Nさん
- ・去年よりも頑張るって良い年にしたいです Sさん
- ・筆談等を用いて企業の人と会話できるようにする Iさん
- ・実習先で指示をよく聞いて行動したり、元気よく挨拶する Iさん
- ・仕事を頑張ります。移行に向けて頑張ります Fさん
- ・掃除のとき角もしっかり掃くようにする Sさん
- ・無病息災・・・Hさん
- ・健康に気を付ける・・・Wさん
- ・ライブに行きたい・・・Yさん
- ・ボーリングを頑張ります・・・Mさん
- ・落ち着いて仕事がんばる・・・Wさん
- ・L型をがんばる・・・Jさん
- ・世界平和・・・Oさん
- ・乃木坂46を応援する Iさん



カレンダーをお譲りください

よろしく
おねがいします



青空作業所ではつかわないカレンダーなどを利用してリサイクル封筒を作成しています。ご家庭、会社様においては、年末にかけカレンダーを頂く機会が増えると思います。ご不要なカレンダー（裏面が無地のもの）があれば是非ともお譲り下さい。ご連絡いただければ取りに伺わせていただきますので、ご協力お願いいたします。

お知らせ



福祉のお店、2月6日（火）高山赤十字病院、3月19日（火）高山市役所
地域交流イベント、3月3日こどもフェスタ 国府交流センター
に出店し、利用者の皆様が心を込めて作成した自主生産品を販売させていただく予定です。
ぜひお越しください！お待ちしております。

青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559
<https://www.welcom-aozora.com/>
令和6年 1月 17日発行 第59号



理事長挨拶



柏木 真司

新年あけましておめでとうございます。本年も青空作業所の活動に対し、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年は年明け早々の能登半島地震により多くの方がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈り申し上げますとともに被災された方々が一日も早く平穏な日常生活に戻れますよう願っています。

さて私は昨年、飛騨特別支援学校の学校運営協議会に参加させていただき、特別支援教育における様々な実情を知ることができました。学校において一番重視しているのが「安心安全な学校づくり」です。予想できない災害等に対して先生方は大きな不安を抱えています。万が一の災害時には先生方だけで生徒を守ることは到底困難であり、地域住民の協力や支援が不可欠です。その為には地域住民が学校のことをもっと理解できるよう、学校からの情報発信を増やしていく事が大切であると思いました。

そして特別支援教育と一般の教育との違いについても考える機会となりました。私が受けてきた一般教育のなかで中学校までは、「あなたはここができていないから、できるようになりましょう」といった課題を克服する教育だったように感じます。これにより平均的な人は作れても特色のある人は育ちにくいと思います。

私が特別支援教育で大切だと考えることは、できないことをできるようにする教育ではなく、できることをより伸ばしていく教育です。「障がいがあるからできない」ではなく、生徒一人ひとりのストレンクス(潜在的に持っている力)を発見し、伸ばしていき、それを将来社会に出た際に活かせる社会スキルに繋げていくことが特別支援教育の醍醐味だと思います。



習慣の違い

柏木 真司

全国で勤務する機会があると、それぞれの赴任先で習慣の違いを感じるがあります。島根県松江市に住んでまず驚いたのは、各家庭では玄関のカギをかけないことです。(現在はわかりませんが。)我が家では夜、当然鍵をかけて就寝します。ある朝近所のおばあちゃんに「なぜ、鍵をかけとるんだ」と指摘されました。どうやらおばあちゃんは朝収穫した野菜を届けに来たのに鍵がかかっている渡せなかったもので、これからは玄関をあけておけということでした。

次に私が馴染めなかった習慣は、出雲地方には「出雲時間」があるということです。出雲のハローワーク主催の会議に私が出席した時のことです。その会議は13時半開始だったので、私はその10分前ぐらいに会場に入りました。しかしその会場には誰もいません。会場を間違えたのかと少々不安になりました。そして13時半ちょうどにハローワークの職員が来て、会場を間違っていないことは分かったものの、とても今から会議が始まるような雰囲気ではありません。その後、一人、また一人と徐々にやってきて、なんと会議が始まったのは13時半を20分ほど過ぎた時でした。

出雲の人が時間にルーズというのではなく、出雲では集合時間と開始時間は違うということに気づいたのは、私が島根に赴任してしばらくたってからでした。しかし私はその後も相変わらず、集合時間の10分前には到着していました。「郷に入れば郷に従う」とはいうものの、この習慣だけはどうしても受け入れることができませんでした。

(第9回終わり)